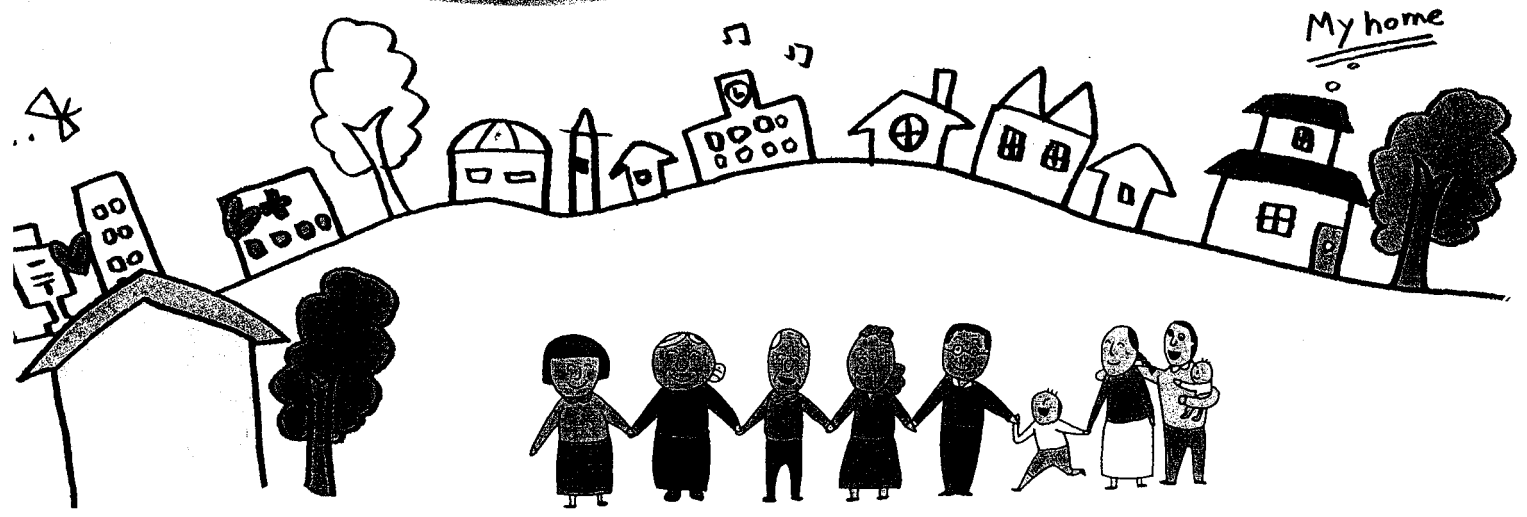


小規模多機能型居宅介護のご案内

知ってほしいから。



これからも  
安心して家で暮らしたい

私がいなきゃ。

まだまだ死ねない



野菜づくりは  
誰にも負けない。

温泉大好き！

まだまだ  
子どもたちのことが心配

でも…

このままではもう  
家では暮らせない…

出かけたい…  
でも…

ひとりでお風呂に  
入るのが怖い

死にたい…



介護が必要になったら  
家族に迷惑かける…

ひとりぼっち

ばかにしないで…。  
私は子どもじゃない。

# あきらめ

その  
1

「思い」や「願い」を大切にします  
～可能な限り在宅で暮らすことを支えます～

自宅に24時間・365日の  
安心を届けます

小規模多機



一緒に暮らしたい

一緒に暮らしたい

優しい母と  
いつまでも  
一緒にいたい。

見守りがあるから安心



いつでも  
相談できる場所がある。

おばあちゃんに  
「ありがとう」って  
言われると嬉しい。

認知症にならなかったら  
こんな親孝行できなかった。

でも....

もう限界....

いつまでこんな  
生活が続くんだろう？  
もうこれ以上できない...

私の気持ちを  
わかってくれる人が  
いない...

おばあちゃんのせいで  
私の生活はもう  
ぐちゃぐちゃ...



夜が眠れない

気づいたら  
うんこ、おしっこまみれ

何を言えば、  
わかってもらえるか  
わからない

# ないで!

その  
3

介護の「困った!」にお応えします  
~「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に支える~

その  
4

地域みんなで考えます

居宅介護  
待長

# 「思い」や「願い」を大切にします ～可能な限り在宅で暮らすことを支えます～

誰もが年をとっても介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域の中で家族や親しい人たちとともに、最期までその人らしい人生を送りたいと望んでいます。

小規模多機能型居宅介護は、そうした在宅での生活を送り続けたいという高齢者や家族の願いに応えます。

〇〇したいの実現

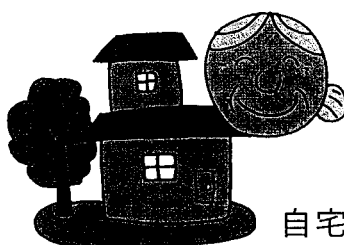
持っている力の活用

生活の継続性

本当は誰もが望んでいる生活

自宅では  
私が主人公

自分で立てた  
スケジュールに沿って  
日常生活を営む



「尊厳ある生活」

日常生活における  
自由な自己決定の  
積み重ね

自宅の良さ

介護が必要となったときでも、介護のために  
自分の生活や自由を犠牲にすることなく、  
自分らしい生活を続けることができる。

この願いを実現するために

## 「小規模多機能型居宅介護」 が

平成18年4月に介護保険の  
地域密着型サービスのひとつとして制度化されました。